

# 苅田町立南原小学校 P T A

〒800-0352 京都郡苅田町富久町 1 丁目 4 の 9

TEL 093-434-3781

## 1 会員数及び会費（平成 20 年度）

区分	P 会員	T 会員	計
会員数	320 世帯	23 人	343
1 人あたりの年会費	4,800	4,800	

## 2 収支決算（平成 19 年度）

収入の部	前年度繰越金	222,377	雑収入	14,449	計	1,891,226
	年会費	1,654,400				
支出の部	費目	支出額	摘要（主な使途）			
	運営費	556,541	県 P 新聞他負担金、奨励費、消耗品費他 各委員会活動費（4 委員会） 教育振興費、メール配信費			
	活動費	524,823				
	その他	595,504				
	繰越金	214,358				
	計	1,891,226				

## 3 設けられている会則、運営規則、会計規則等

会則などの名称	制定・改正年月日	要 旨
苅田町立南原小学校父母教師会規約	昭和 26 年 4 月 1 日	
苅田町立南原小学校 P T A 規約	平成 2 年 4 月 22 日改正	

## 4 発足から今日までのあゆみ

年・月	P T A の沿革（活動のトピックのみ記載）
明治 31 年	南原小学校開校
昭和 39 年 8 月	北九州地区小学校 P T A 連合会表彰受賞
昭和 47 年 5 月	交通安全運動の推進の功績により、県知事表彰受賞
平成 5 年 4 月	南原小学校 P T A 地区委員会新設
平成 9 年 10 月	創立百周年記念子どもまつり開催
平成 11 年 11 月	京築 P T A 指導者研修会実践発表
平成 19 年 6 月	メール配信運用開始
平成 20 年 11 月	優良 P T A 文部科学大臣表彰受賞

## 5 地区の概要

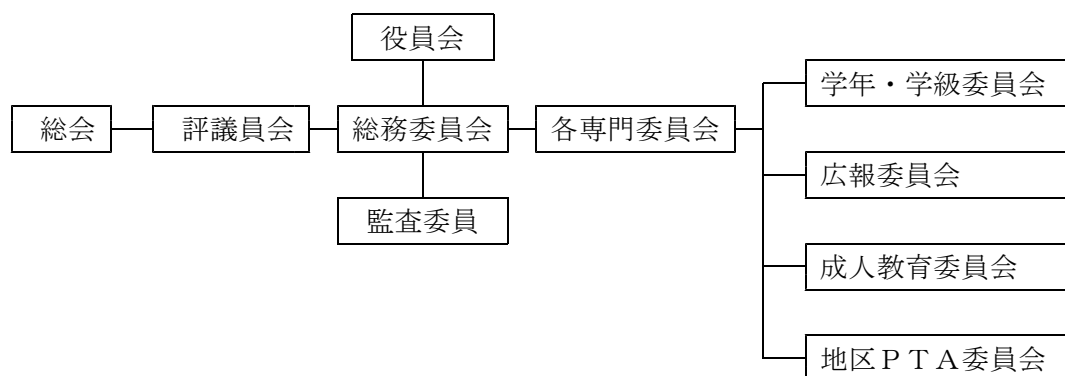
荏田町は、北九州市や行橋市に隣接し、交通量が多く、自動車、金属、セメント、電力、輸送会社等、数多くの工場が進出し、活気ある町として発展している。学校のすぐ近くには、町役場や中央公民館、消防署、町立図書館、町民体育館、公園、郵便局など公共施設がある。また、歴史資料館や石塚山古墳などの歴史文化施設や史跡もあり、町民の文化向上に活用されている。さらに、学校の横を国道10号線が通っており、各種商店や飲食店が建ち並んで、生活するには非常に便利な地域でもある。

地域住民や保護者の学校教育に関する関心は高く、区長会や子ども会育成会等の諸団体も協力的である。

## 6 組織運営の状況

本会における会議は、総会・評議員会・役員会・総務委員会・各専門委員会とする。

各専門委員会には、学年学級・広報・成人教育・地区PTAの4つの委員会があり、役割分担を行って計画的に活動するとともに、本部役員と各委員会委員長副委員長で構成する総務委員会を定期的に開催し、連携のとれた有機的な運営を行っている。



## 7 広報活動の状況

広報委員会より南原小学校PTA新聞「きずな」を年5号発行している。内容は、学校行事等における子どもの様子を写真や作文で紹介したり、各専門委員会の活動の様子を報告したりと、毎回委員を中心に工夫して構成している。

## 8 学校教育の理解及び家庭教育に関する学習活動の状況

福岡県教育委員会主催の「アンビシャス福岡家庭教育宣言事業」及び福岡県PTA連合会主催の「“新”家庭教育宣言事業」の助成を受け、「基本的生活習慣の育成」をテーマに、家庭の教育力向上のための実践活動に取り組んでいる。

## 9 成人教育に関する諸活動の状況

成人教育委員会では、大小様々な講演会・学習会を「人権」「命」「子どもの生活」に視点をあてて行っている。家庭教育学級は年間8回開催し、成人教育委員のみでなく、多くのPTA会員が参加できる新しい取り組みを工夫している。

## 10 児童の学校外生活の指導に関する活動状況

地区PTA委員会を中心に登校指導やあいさつ運動を行い、児童の安全確保を図っている。校区内の交通指導員やボランティアの方々の協力により、一年生の下校指導を担当と一緒にしている。

放課後学級や寺子屋教室とも積極的に連携し、土曜日の学校を開放して子どもの自主活動を支援している。

## 11 地域の教育環境の整備に関する活動

荏田町PTA連絡協議会として取り組んでいる環境美化活動に全会員が参加し、通学路や地域の公園などの清掃を行っている。本年度は、事務局として町内小・中学校のPTAの連携を深め、荏田町の子どもたちの健全育成を図る取り組みを進めてきた。

## 12 今後の課題

毎年恒例のバザーには、全会員や地域の方々が参加し盛大に行われている。しかし、昼間のPTA活動に参加できる会員が限られてきている現状がある。誰もが、参加できる楽しいPTA活動を目指して、改善できるところは改善するとともに、親として、PTA一会員としての自覚を促す取り組みを検討していきたい。